



届けます！30分でわかる乳がんのおはなし

～乳がん体験者と区が小学校で出張講座を開催～

とき 10月24日(11時30分～12時15分) ところ 区立仲町小学校(練馬区氷川台2-18-24)

24日、区立仲町小学校で乳がんの検診を促す出張講座が行われ、同校PTAの母親たち18名が参加した。これは、乳がん体験者のグループ「あけぼの - NERiMA - 」と区の協働事業(練馬区協働事業提案制度)として今年度から行っている講座で、今回で2回目。

当日は、この事業のために「あけぼの - NERiMA - 」が独自に作成したDVDを使った「乳がん検診から治療まで」の講義から始まり、保健師と乳がん体験者による講話、乳がん触診モデルを使って乳がんの「しこり」を実際に触れる「自己触診の体験」などが行われた。

講話では、乳がん体験者が「乳がんは命に関わる病気。子どものことならすぐに検査したり病院に行くのと同じように、自分の体にも気をつけてもらい、検診の案内が来たら是非、受診をしてほしい。」と話す、多くの参加者が頷いていた。

講座に参加した保護者の一人は「乳がん検診を受けたり、乳がんのことを知る機会がなかったので、とてもありがたかった。がん体験者の話が印象的で、自分も自分の体を大事にしようと思いました。」と感想を話していた。



【乳がん触診モデルを使った自己触診体験】

【開催の経緯】

乳がんにかかる人は、30歳代後半から急増するが、この年代は子育てや仕事が忙しく、検診への足が向かないことが多い。そこで、「あけぼの - NERiMA - 」は、その世代が多く集まる小中学校のPTA等の集まりでの出張講座を区に提案。区もこれを採択し、本事業の実施に至った。

今回は仲町小学校の学校公開に合わせて実施した。

【今後の開催予定(10月中)】

10月27日(月)(豊玉南小学校)・10月29日(水)(旭丘中学校)・10月30日(木)(関町北小学校)

【練馬区の乳がんの状況】

練馬区の乳がんの年齢調整死亡率(75歳未満)は、17.7%(平成23年度)と、国(10.8%)や都(13.0%)と比較して非常に高い割合である。しかし、練馬区の乳がん検診の受診率は平成24年度において19.4%と低迷しており、5人に4人が検診を受けていない状況である。

【練馬区協働事業提案制度とは】

地域の様々な課題に対して、町会・自治会やNPO・ボランティア団体などから、課題の解決に向けた企画提案をいただき、提案団体と練馬区や、それぞれの持つ資源(知識、経験、人材、情報、資金など)を持ち寄り、力を合わせて課題の解決に取り組む仕組み。公募区民や学識経験者などにより構成される審査委員会が審査し、採択された事業は、協定を締結したうえで、事業を実施する。

【問い合わせ】

「乳がんの出張講座」について 北保健相談所 電話 03-3931-1347

「協働事業提案制度」について 地域振興課 地域コミュニティ支援係 電話 03-5984-1039